

## 2015年3月期決算説明会 主な質疑応答

Q1：プロセス事業の15/3月期売上高が計画値に対して下振れした理由は？

A1：予定していた大型案件について、採算性を重視し無理に受注しなかった結果。セグメントの収益は狙いに近い額を確保できた。

Q2：検査機事業の下振れは、受注残の状況で見えていたはずでは？

A2：選果装置の引き合いはあったのでいけるとみていた。様々な環境要因が生じて結果として届かなかった。

Q3：装置メーカーでは液晶パネルや二次電池向けの受注が活発化しつつあるが、御社にもそのような動きが出てきているか？

A3：無地検査装置は10月から引き合いが増えている。銅箔やスマホ電子部品向け、バリア・フィルムなどの引き合いが特に多い。

Q4：TPPの動きに伴い想定される影響は？

A4：選果装置の受注にどう影響するかはまだ分からないが、今後は農業の競争力を高めるための努力が必要になると思う。我々もそれを手伝っていきたい。

Q5：中期計画で16/3月期から17/3月期に向けて大幅な利益の伸びを想定している理由は？

A5：各セグメントで付加価値を高めた新製品の販売、また、選魚装置、選果装置の海外展開など新市場開拓による売上増も収益貢献する。

以上